

看護専門科目	臨床応用専門科目					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	前期	3年次
科目名	老年看護学実践論Ⅱ（高齢者の生活を支える看護） Gerontological Nursing II (Supporting Elderly People's Living)					
担当教員	◎船瀬孝子 川喜田恵美 菊本由里 伊藤咲 吉村牧子					
目的	加齢による機能低下や疾病・障害をもちながら生活する高齢者とその家族について理解し、その人らしく生活することを支える看護ケアを提供するための方法論について学ぶ。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の特徴的な変調と日常生活機能のアセスメントの視点を理解できる。</li> <li>2. 日常生活機能障害、健康障害をもつ高齢者の健康レベルに応じた看護援助が理解できる。</li> <li>3. 終末期にある高齢者に対する看護の方法を理解できる。</li> </ol>					
他科目との関連	体のしくみと疾病の成り立ちⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、保健医療福祉行政論、社会福祉原論、老年看護学概論、老年看護学実践論Ⅱ・Ⅲ、老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				0.7
	レポート	課題レポート成績				0.3
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	①亀井智子：根拠と事故防止からみた老年看護技術 東京：医学書院 第2版 2016（978-4-260-02498-3） ②他 *平成29年度に購入したテキスト					
参考資料	適宜指示するか、配布する					
備考 (受講上注意、事前学習等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オムニバス形式で進め、実技演習を企画しているため、時間割がイレギュラーになる。くれぐれも開講時間の間違いがないように留意すること。</li> <li>・高齢者へのケアでは、事例を用いて演習をすすめる。老年看護学実践論Ⅰでの学習内容を活用するため、復習を十分に行っておくこと。</li> </ul>					